

府中療育センター看護科人材育成の取り組み

看護科（研修教育担当看護師長） 山本和佳子

府中療育センターでは、日本看護協会ラダーに準拠した「都立病院キャリアラダー」に基づき、人材育成を行っています。ラダーとは「看護師の臨床能力を段階的に表した評価システム」のことで、英語で「梯子(はしご)」という意味です。到達すべき目標に向けて、職員一人ひとりが梯子をのぼるようにステップアップしていくよう、研修は組み立てられています。

研修は卒後3年目までの基礎コースと卒後4年目以上のジェネラリストコースに分かれています。基礎コースは重症心身障害児者看護の基礎を学び、ジェネラリストコースは看護師がさらにレベルアップし、より良い看護・療育を提供できるように組み立てられています。基礎コースの研修生は、病棟看護師長、教育担当者、実地指導者、病棟職員の温かい支援のもと、コミュニケーションをとりながら頑張っています。

そして今年度からは研修の充実を図るため、体験型研修と動画視聴研修も取り入れました。体験型の研修では基礎Ⅲ研修で通所バスに添乗し、地域で生活する利用者さんを通して地域包括ケアについて学びました。動画視聴は多岐にわたるコースが設定されており、「誰でも」「いつでも」「どこでも」視聴できるようになりました。次年度は更なる動画の活用を進め、より充実した院内研修を実施し、職員のレベルアップを図り、より良い看護・療育の提供に努めていきたいと思えます。

<体験型研修>

出発前にお迎えのコース、地域で関わる人たちとの情報共有について等、注意事項の説明を聞きます。



<研修の新しいツール 動画視聴>

動画には臨床判断・輸液ポンプの基本といった基礎習得コース、アサーションの基本・実際といった看護共有コース、看護研修コース等、約940ものコースがあります。



〒183-8553
東京都府中市武蔵台2-9-2
東京都立府中療育センター
電話 042(323)5115
FAX 042(322)6207

--*ホームページもご覧ください*-*-*

<http://www.fukushi.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>

ひだまり

都立府中療育センター新聞 第563号 発行日 令和6年11月30日

☆ 第16回 府中療育センター祭特集 ☆

府中療育センター祭実行委員会事務局



10月25日(金)26日(土)は、第16回府中療育センター祭(以下「センター祭」)のイベント日でした。イベントに先駆けて始まる全体制作とスタンプラリー、そしてイベント当日の感覚刺激コーナーには、共通のテーマ「気球に乗って冒険に出よう」が掲げられ、9月下旬から全体制作「みんなの夢を気球に乗せて」、10月下旬からはスタンプラリー「気球に乗ってどこへ行きたい?」が開始しました。各部署の展示が出揃うと、まもなくイベント日を迎えることとなりました。

今年は、新センターに移転後初めて、1階屋外広場をメイン会場として行いました。天候が危ぶまれましたが、センター利用者の皆さんの普段の行いの良さからか、両日とも曇天という、絶好の屋外行事日和になりました。当日は、通園、通所とご家族、入所とご家族、当日受診のある外来利用者がいらして、お祭りを楽しみました。

さあ、今年のお祭りは会場での院長の「開会のあいさつ」と利用者代表の方によるキラキラテープが飛び出すバズーカ砲発射で始まりしました。イベント会場をご紹介します。屋外広場には、芸能コーナー、ゲームコーナー、食べ物コーナー、外部出店コーナー、職員によるブース企画コーナーが一堂に会しました。食べ物コーナーは、綿あめや水ようかん、初登場のちょこっとプリン、溶けないアイスといったお菓子やカルピス、コーヒー、リンゴジュース等の飲み物が用意され、皆さんワクワクした様子で選んでいらっしゃいました。外部出店コーナーは、今年も地域の障害者施設等の皆さまに、それぞれ自慢の商品を販売していただきました。昨年度に引き続き「食彩さしすせそ」、「ワークセンターこむたん」、「ギャロップ」、「府中刑務所」、「武蔵台学園」、そして久しぶりに「府中けやきの森学園」、新しく「ともしび工房」が参加され、お祭りを賑やかに彩っていただきました。机いっぱい置かれた様々な商品を参加者は見て回り、買い物を大いに楽しみました。

ゲームコーナーは、超大型の黒ひげ危機一発ゲーム「伝説の海賊」と、マジックテープ棒や釣り竿で収穫する「秋の味覚狩り」です。「伝説の海賊」は、剣ならぬ樽についたスイッチボタンを押して、ジャンボ黒ひげが登場したら当たり!景品がもらえます。むくむくと出てくる大きな黒ひげに、利用者のびっくり顔が印象的でした。

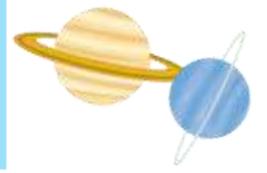
ゲームコーナーは、超大型の黒ひげ危機一発ゲーム「伝説の海賊」と、マジックテープ棒や釣り竿で収穫する「秋の味覚狩り」です。「伝説の海賊」は、剣ならぬ樽についたスイッチボタンを押して、ジャンボ黒ひげが登場したら当たり!景品がもらえます。むくむくと出てくる大きな黒ひげに、利用者のびっくり顔が印象的でした。



2、3面へ続く



☆ 第16回 府中療育センター祭特集 ☆



～伝説の海賊～
ジャンボ黒ひげが出たら大当たり

黒ひげは、
病棟へもやっ
てきました



感覚刺激コーナー



力作ぞろいの展示作品

「秋の味覚狩り」は、木になった柿やりんご、ニョキニョキ生えたキノコ、水辺でのサンマ釣り、とまさに秋の美味しいものがいっぱい。収穫したものは景品と交換してもらいました。棒や竿は利用者が取りやすいように工夫されていて、いくつも取った方が満足そうな顔をしていました。

また、ゲームコーナーは、「伝説の海賊」を連れて病棟訪問も行い、会場に行ってお祭りに参加することが難しい利用者が、黒ひげの登場や訪問スタッフとのやりとりを楽しみました。

他にも職員による企画ブースとして、ICTによる「災害時の手指衛生をやってみよう」、緩和ケア委員会による「緩和ケアのシンボル、オレンジの風船配り」、摂食嚥下ワーキンググループの「補助栄養食品って、どんなもの？」が開かれ、盛りだくさんのイベント会場となりました。

次に屋内会場の紹介をします。1階感覚刺激コーナーの「気球に乗って冒険に出よう！」。入口では全体制作で作った気球に乗ってまず府中市上空でビール工場や競馬場を眺めた後、ディズニーのファンタジースプリングスや「ポケモン」をイメージした世界。そして最後は、なんと「宇宙」へ。宇宙体験をした後は、体験した4か所の中で一番好きな世界を背景にハイポーズ、パチリ！記念写真を撮りました。

また、1階の理学療法室では、今年もVTRで参加の2C病棟発表「2C病棟 行事等の様子」、くぬぎ分教室「わたしたちのじゃがいも栽培記録～プロジェクトP」の上映がありました。2C病棟の様々な行事の楽しい雰囲気、くぬぎ分教室の生徒の皆さんのじゃがいもの探求が、世界にまで広がった壮大なプロジェクトになる様子に、足を止めて興味深く鑑賞している方が多くいらっしゃいました。2団体の皆さま、VTRでのご出演、ありがとうございました！

2階に行ってみましょう。各部署が工夫を凝らした展示作品の数々が見えてきます。力作ぞろいの作品で、イベント日の観覧者は1階会場から遠く少なかったものの、お祭り週間にはたくさんの方がゆっくりと見に来て下さいました。

さて、次は芸能コーナーです。メイン会場・屋外広場では3つの特別公演が行われました。金曜日の「ひとみ&Friends」さんは、腹話術によるぬいぐるみとひとみさんの歌の世界。愛らしいぬいぐるみとひとみさんとの会話に思わず微笑み、ファンタジーの世界に心躍らせました。土曜日には「府中けやきの森

学園和太鼓部」さんが数年ぶりの生の和太鼓演奏と合唱を披露してくださいました。堂々とした太鼓の音と生徒の皆さんの声から、見ている人は皆元気パワーをいただきました。

また、同日の「QUENARPAN(ケナルパン)」さんは、マリンバ、スティールパン、ケーナ等のラテンアメリカ楽器を使った演奏です。独特の音色で「コンドルは飛んで行く」「花祭り」等、聞き覚えのある曲をたくさん演奏してくださいました。利用者の近くにも来てくださり、間近で聴く楽器の音にハッとした表情や笑顔が見られました。「ひとみ&Friends」と「QUENARPAN」さんは、それぞれ3回公演してください、多くの来場者がその演奏を聴くことができました。

土曜日の午後には「ボランティア表彰」も行われました。特別表彰として1団体（年に2回の手作りマスコットのプレゼント）と個人2名（それぞれグループ活動のお手伝い）の方へ、長年にわたるセンターでのボランティア活動に対し感謝の気持ちをお伝えしました。関わって下さっているボランティアの皆様、今後ともどうぞよろしくお願いいたします！

また今年も、七五三から傘寿まで幅広い年代の方々が人生の節目を迎えられました。恒例の「人生の節目を祝う会」において、通所部門はイベント日に、入所部門はセンター祭週間に、院長や副院長が各部署を訪問し、対象の皆様の節目の時をお祝いして記念品をお贈りしました。これからもどうぞお元気で、楽しい毎日を♪

2日間のイベントは、閉会式での事務長の「閉会のあいさつ」と、利用者代表の方によるキラキラテープが飛び出すバズーカ砲の発射で締めくくられました。

今年度は新センターになって初めて、一部の時間帯でありましたが、入所、通園、通所、外来の利用者が一緒に屋外でのお祭りを楽しむことができました。また、入所部門は、昨年フロアごとの参加から全病棟フリーで参加できました。昨年に引き続きボランティアの方々には多くご参加いただき活躍していただきました。まだ以前のように「ご自由に」お楽しみいただくというわけにはいかず、いくつかの制約を設けてのご案内となり、ご参加いただいた皆さまにはご不便をおかけしたかと思いますが、少しでも楽しいひと時を過ごしていただけたなら幸いです。センター祭にご理解、ご協力いただいたすべての皆さまに、心より感謝申し上げます。

ひとみ&Friends



ぬいぐるみとの会話&歌で
みんな笑顔に♪



QUENARPAN



本格的な楽器演奏を間近で楽しむ



テーマ「気球に乗って冒険に出よう！」からつながる全体制作